

外観



「箱根パークス吉野」は、箱根湯本温泉の一角、須雲川の静かなせせらぎのほとりに佇む温泉宿。パークスはラテン語で「くつろぎ・やすらぎ」を意味し、お客さまへのおもてなしの思いが込められている。

和洋室



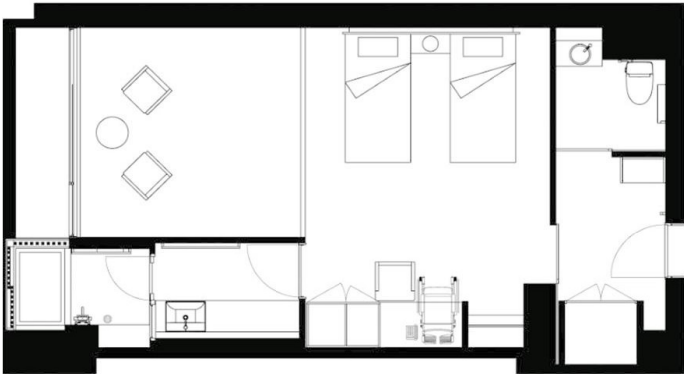
車いす使用者や高齢者に配慮して、入口から洋室・浴室・トイレまで、段差をなくした、バリアフリー対応の和洋室。ゆったりサイズのベッドを備え、奥には着替えなどに便利な量敷きの小上がりが用意されている。

和洋室 洗面所・浴室



水まわりは木の温もりを感じさせる空間。日本の伝統工芸である『折り紙』をモチーフにしたハイクオリティ洗面器を採用。車いす使用者に配慮し足元をオープンにし、半露天風呂との段差もなくしている。

和洋室 平面図



和洋室 トイレ



車いす使用者や高齢者に配慮して、ゆとりあるスペースを確保したトイレ。扉は開口部を広く確保できる引戸を採用。便器から立ち上がる時に、手を付くことができる棚付き紙巻器や手すりを設置している。

貸切露天風呂（雲） 入口・脱衣所



3ヶ所ある貸切露天風呂への通路は、車いす使用者に配慮し、ゆるやかなスロープになっている。脱衣場の洗面カウンターは、車いすでアプローチしやすいように、足元をオープンにしている。

貸切露天風呂（雲）



貸切露天風呂は、浴槽のタイプが異なる3タイプを用意。「雲」は高齢者に配慮して、入口から浴槽まで腰掛けながら移動できるようにベンチを設置。また、浴槽への出入りをサポートする手すりも設置している。

共有トイレ・洗面所



明るく温かみのある空間。すべての大便器にウォシュレットを設置。小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを採用している。

建築概要

名 称	箱根パークス吉野
所 在 地	神奈川県足柄下郡箱根町湯本茶屋139-5
施 主	箱根パークス吉野
設 計	有限会社インダ設計
施 工	匠建設株式会社
竣 工 年 月	（改修）2013年12月3日

大浴場（内湯・露天風呂）・湯上り処



大浴場では、四季折々に変化する箱根の自然を堪能しながら入浴が楽しめる。湯坂山の景色を眺めながらくつろぐことができる270㎡の湯上り処には、キッズコーナーやエステ、整体コーナーも併設。

多機能トイレ



車いす使用者や小さなお子様連れに配慮して、ベビーチェアやベビーシートを備えた多機能トイレ。

水まわりの特長

<改修の経緯>
「箱根パークス吉野」は1951年創業の温泉宿。3世代の家族連れをターゲットとした安心・安全なバリアフリー対応の推進をはじめ、「ゆったり、ゆったり、しっかり」をコンセプトに、2013年12月にリニューアルオープン。四季を「ゆったり」愉しめる、半露天風呂付客室を新設。最上階のSPAゾーンには、貸切露天風呂を3室増設し、さらに270㎡の広々とした湯上がり処を新設。大浴場・露天風呂とあわせて「ゆっくりくつろぐことができる。さらに、東日本大震災を教訓に、西館に耐震補強を図るなど「しっかり」とした安全を提供する。そのほか、外国人や高齢者に配慮して、ベッドの客室を増やすなど随所に、お客さまにとって忘れられない1日を提供する宿を目指している。

<水まわりの特長>
トイレ・浴室・洗面所は段差をなくしたバリアフリー対応の客室を整備。トイレは、車いすでアプローチしやすい広さを確保し、扉は開口部を広く確保できる引戸を採用。また貸切露天風呂のひとつ（雲）は、入口から浴槽まで腰掛けながら移動できるようにベンチを備え、浴槽への出入りをサポートする手すりを設置するなど、車いす使用者や高齢者に配慮した、水まわり空間を実現している。なお、すべてのトイレにはウォシュレットを設置している。